

2015年1月15日

UD21にいがた 1月定例会 議事録

日時：2015年1月15日(木) 10:00～12:00

場所：ウィルアシスト

参加者：林・秋元・渡辺・山倉・滝沢・佐藤・熊木・響田・水野・石月・丸山（書記）

11名参加

1. UD製品の対外的な評価について

● 表示の内容について

- ◆ 「NPO法人 UD21にいがた が認めた UD商品です」という表記をする



- ◆ このLOGOマークをつかう。

● 料金について

- ◆ 登録料として登録時に1回1～2万円のロイヤリティを徴収する
- ◆ 同シリーズなど、大きな違いがない案件については審査を必要としないとする。
- ◆ シリーズ展開やバージョンアップの場合は、ホームページに追加する場合は5000円を徴収する

● 審査方法について

- ◆ 定例会にて提案していただき、定例会参加者で審査を行い、決議する
- ◆ 書類審査だけでなく、実物を確認すること
- ◆ 同シリーズなど、新たな案件が出た場合は、随時申請をすること
- ◆ 案件についてはUD21にいがた会員が実際に使用すること
- ◆ 定例会での使用が難しい案件は場所・日時などを指定していただき、出向する。ただし、出向に関する諸経費については、審査料金と別途請求する。

● 登録された案件のメリットについて

- ◆ UD21にいがたのホームページに追加する
- ◆ 認定証、またはUD21にいがたのマークを付与する

● 課題

- ◆ どのような要件を考慮したかなどを明確に、開示する必要がある
- ◆ 表記を受けることのメリットを作り上げていく必要がある
- ◆ 審査書類、審査料、認定証、認定マークなどの受け入れ環境の整備が必要である
- ◆ 第三者からUDの内容に質問があった場合に、的確に回答できること
特に、UDだからすべての人に使いやすいことは有り得ないので、ココがUDと言えるポイントを説明できるようにすること

2. 赤ちゃんの駅について

- NPO法人として販売することの重要性

- ◆ 「赤ちゃんの駅」を民間企業として販売するのではなく、NPO 法人として販売することに手ごたえを得ることができた。
- ◆ 地方でのイベントでは自家用車の中でおむつ交換や授乳をするが、首都圏では公共交通機関を使うので、「赤ちゃんの駅」に必要性は高い
- ◆ 仕入れ値 23 万 5 千円、販売価格 27 万円とし、資金源としても有力である
- ◆ オリンピックの設備としても取り組んでいく予定である

3. ホームページリニューアルについて

- ホームページデザインについて
 - ◆ 未来を見据えて、タブレット端末で閲覧しやすいよう縦のスクロールを極限に減らした。
 - ◆ 表示する情報量を制限することで、シンプルなデザインにしている
 - ◆ 情報量が多い、過去の活動などは PDF で印刷できる仕様になっている
- 修整について
 - ◆ 各プロジェクトのアイコンや、UD 要件などの変更があれば連絡する
 - ◆ 問い合わせフォームを早急に作成する

4. HAS プロジェクトについて

- 南魚沼市の CCRC について
 - ◆ 南魚沼市では、CCRC (Continuing Care Retirement Community) を明確に掲げている。特に井口市長を先頭に国内ではじめての CCRC プロジェクトの成功を目指している。国際大学を含め地元のシーズはそろっている。
 - ◆ 南魚沼 CCRC の活動に参加することで、UD21 にいがたの活動も具体的にできる
 - ◆ 結果として、UD21 にいがたの発展に繋がっていく

5. 介護ロボットの委託事業について

- ◆ 2014年12月19日のセミナー
場 所：燕三条地場産センター
参加者：約90名 半分以上が燕三条地区のものづくりのメーカー
内 容：第一部は赤池学氏（ユニバーサルデザイン総合研究所所長）の講演
第二部は木村覚氏（インテグラス）と渡辺裕副代表とによるHASプロジェクトの説明
- ◆ ウィルアシストに展示している介護ロボット 4種類各1台

1. ロボットスーツHAL福祉用	サイバーデザイン社
2. メンタルコミットロボット「パロ」	大和ハウス工業
3. お食事ロボット「マイスプーン」	セコム
4. おしゃべりロボット「うなずきかぼちゃん」	ピップ
- ◆ コーディネーターとして石月斗志を3月まで採用

6. ストックバスターズ 轡田社長より開発した新しい農具「畑の三役さん」の紹介

- ◆ UD商品として売り出していきたいのでUD21に審査を依頼する
- ◆ ウィルアシストの庭にて各自が草取りなどその農具を体験する。
- ◆ 評価はとてもよかった！

以上